



み や ぎ
- 59号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
〒989-2202
宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

院長挨拶～新年度を迎えて～

院長 永野 功

平成30年度の始まりにあたりご挨拶申し上げます。今年の冬は当地でも降雪がありましたが春の訪れは早く、桜もあつという間に咲いて、そして散ってゆきました。職員の皆様のたゆまぬ努力によって29年度は当院の経営状況も前年度より改善し、わが宮城病院にも本当に春が来るのではないかと期待も膨らむ中、新年度に30名を優に超える新採用者が宮城病院のメンバーとなりました。26名にのぼる看護師をはじめ、各部門にフレッシュな人たちが入職し、病院全体が若やいでいるような気持ちにさせられます。

これから職業人生を歩み始める若い人たちを前にして私が思い浮かべるのは、アップル社の創始者スティーブ・ジョブズが2005年6月12日のスタンフォード大学で行った有名なスピーチです。これはスタンフォード大学の学位授与式(Commencement)に招かれたジョブズが、これから社会へ



巣立って行く大勢の若者たちを前に行った式辞です。彼は膵臓癌で2011年に亡くなるのですが、この短いスピーチでは自分自身の経験を3つ紹介して自分の人生を総括するような含意に満ちた内容になっています。詳細はぜひインターネットで見ただけであればと思いますが、最も印象的なのは彼が3つ目に挙げた「死」というテーマです。ジョブズは17歳の時にある箴言を読んで以来、毎朝鏡に向かって、今日が人生最後の日だとしても自分は今やっていることをやるだろうかと自問するようになったそうです。「違う」という答えが何度か続けば、今の仕事や生活の見直しを始めていく。

(次ページへ続く)

写真前列左から

久永副院長、戸田副看護部長、永野院長、
中野看護部長、安藤特命副院長

写真後列左から

大坂経営企画室長、飯村薬剤部長、
岩崎企画課長、遊佐管理課長、藤田事務部長

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

死を前にすれば何も怖れるものはないし、見栄も失敗の恐れも捨てて本当に自分のやりたいことをやろうという気持ちになると。後年、膵臓癌と診断されてからはさらにその意識が強くなったそうです。この経験からジョブズは若者たちに言います、「死は我々全員に訪れます。若いあなたたちもやがては年老いてこの世から消えていく。あなたたちの時間は限られています、世間体やドグマに囚われず自分の心と直観に従って生きなさい。」と。徒然草の「死は前よりしも来らず かねて後に迫れり」という句が浮かびますが、禅語の「生死事大 無常迅速」にも通じるところがあります。この人生観は、若い時に仏教に親しんだジョブズらしい考えだと思います。このスピーチは、” Stay Hungry. Stay Foolish.” という言葉で余韻を残して締めくくられますが、毀誉褒貶の人だったジョブズの哲学が込められているとつくづく感じます。

さて、我々の職業人生には定年という期限がありますし、生物学的な死も必ず訪れるわけです。宮城病院の職員の皆さんも長い人生をおくりながら、職場では後進を育て家庭では子や孫を育て、やがては後の人たちに道を譲っていかねばなりません。新しく仕事を開始した新人の方々も経験を積みながらやがて中堅として活躍していくでしょう。我々全員が、自分の時間は限られているのだという意識を常に持って、医療というかけがえのない職業人生をまっとうしていけたらと願わずにはられません。

病院・地域の魅力を伝える 宮城病院見学バスツアー



Supported by 山元町&亶理町

平成30年3月20日(火)に、看護学生に対し「地域医療の実情」と「地域で働くことの魅力」について理解を深めることを目的とした「宮城病院見学バスツアー」を亶理町及び山元町の協力のもと、開催しました。

ツアーの参加者は、学校訪問、看護師採用説明会での宣伝、病院ホームページへの掲載を行った結果、昨年の19名を超える34名の看護学生が参加してくれました。

見学ツアー当日は、若干気温が低かったものの天候に恵まれ、集合場所の仙台駅から病院までの車中では、当院副看護部長、看護師長及び先輩看護師5名が同乗し、自己紹介等を行い、和やかな雰囲気となりました。

病院到着後は、永野院長による当院の診療機能や歴史についての概要説明、続いて中野看護部長より看護部概要や研修体制の説明を行いました。その後、病棟見学を行い、病棟の設備や看護の実際について、各病棟の先輩看護師より説明、そして、きれいな宿舎の見学を実施しました。

(次ページへ続く)

昼食には学生と共に職員も一緒に地元特産のほっき飯などを食べながら、病院見学の感想や、病院勤務についての質問等、意見交換が行われました。

午後からは、山下駅東口に平成 29 年 9 月に完成したばかりのつばめの杜ひだまりホールに移動し、亘理町及び山元町の職員の方々より両町の魅力について説明していただきました。その後、山下駅から山元町の新市街地やこどもセンターの見学などを行い、当院に就職した際の周辺環境の状況を知ることができ、学生達も興味深く話を聞いておりました。

ツアーの最後には、学生が心待ちにしていたであろう山元町特産の「いちご狩り」を行い、おいしいいちごを全員で味わいバスツアーが終了しました。

このツアーを通じて、地元自治体と共に地域に根ざした病院の PR ができたのではないかと思います。昨年実施したバスツアーから 2 名がこの 4 月に看護師として当院に入職していますので、今回のバスツアー参加者からも多くの学生が当院の就職を希望してもらえることを願っております。

最後に今回の企画にご協力いただきました、亘理町及び山元町その他関係各所の皆様へ感謝申し上げます。

(庶務係長 菅原 祐太)



地元ミヤギテレビでもニュースに取り上げてもらいました！

震災から7年 防災訓練

平成30年3月14日（水）、東日本大震災から7年余りが経過したこの日、日中の地震及び津波を想定した防災訓練を実施しました。

13時30分に宮城県沖で震度6強の地震が発生し、その後、津波警報が発令されたという想定で、幹部職員が小会議室に招集し「災害対策本部」を立ち上げ、津波警報基準レベルに応じた避難命令及び避難誘導、各職場からの被害状況をまとめ災害対策本部長（院長）へ報告する流れを確認しました。

津波避難基準レベルに応じた避難というのは、気象庁が発表する津波警報・津波注意報に応じて避難対象と避難場所をあらかじめ決めており、警報又は注意報が発表された際に避難しております。気象庁が発表する津波警報・津波注意報には、0.5m程度の津波を想定した「津波注意報」、2m～3m程度の「津波警報」及び3m～10m以上の「大津波警報」の3段階に分かれています。一方、病院の建物についてもその建築場所にあわせて高・中・低の3段階に分け、それぞれの段階と津波警報・注意報の種類を関連づけ、津波警報、津波注意報が発表された場合における避難場所を定めています。

今回の想定は「津波警報」であったため、職員の避難誘導により外来駐車場にいる方と院内保育所にいる方は、5m程度高くなっている外来管理棟1階に、また機能訓練棟にいる方は南病棟に避難しました。

一方、災害対策本部では、各職場からの被害情報を収集しました。各病棟、職場からの被害状況、患者さんの所在の確認などの報告があり、それらの情報を取りまとめ、災害対策本部長（院長）へ報告し、滞りなく訓練は終了しました。

東日本大震災から7年が経過し、当時を経験していない職員も少しずつ増えてきていることもあり、今回のような訓練を繰り返し実施し、職員の意識の向上につなげていければと思います。

（庶務班長 舞原 範夫）

災害対策本部設置・被災状況の確認



避難誘導



第6回 宮城病院公開講座

平成30年3月3日（土）、第6回目となる宮城病院公開講座を坂元地区にある昨年新たに完成した山元町防災拠点・坂元地域交流センター「ふるさとおもだか館」で開催いたしました。

当日は、晴れ渡る天候にも恵まれ、参加者は地域住民の皆さま、医療福祉関係者全体で約130名と多くの方々にご参加いただきました。

毎回、宮城病院公開講座では地域の皆さまへ健康増進・予防をテーマに「この地域で生き生きと暮らすために」と題して、今回は「歯」に関するテーマで講演会を開催いたしました。最初の講演では、当院歯科医長 中原先生より「歯を失わないためにハミガキより大事なこと」についての講演を行い、歯を失ってからでは、認知症や転倒、要介護のリスクが高くなることや歯を失う原因の歯周病と虫歯についてスライドを交えながら、予防やハミガキについてわかりやすく説明していただきました。

次の講演では、当院リハビリテーション科高橋作業療法士長より「歯の噛み合わせとからだのバランス」について、歯のかみ合わせは、「体の杖」とも呼ばれ、体全体のバランスには非常に重要であること、また講演の中では、当院イケメン！リハビリスタッフも加わり、参加者の皆さまと共に、転倒予防のバランス体操などを行い、盛況に終えることができました。参加者からも全体を通して、「知らなかったハミガキ方法がわかった」「バランス体操がとても参考になった」「2つともわかりやすい講演会だった」など、たくさんのご意見をいただきました。

今後も地域の皆さまに、生き生きと健康で安心して暮らしていただけるよう宮城病院として公開講演会を開催し、町や地域の医療福祉関係機関と連携を図りながら地域医療に貢献していきたいと考えております。

最後に、この場をお借りして今回講演会開催にあたり山元町保健福祉課の皆さま方には、町広報誌でのご案内をはじめとして、会場の事前準備、当日の会場設営等多大なご協力をいただき、盛況に終えられたこと深く感謝しております。どうもありがとうございました。

（経営経営企画室長 大坂 雄二）



診療科		曜日	月	火	水	木	金
神経内科 (新患は予約制)	新患		久永 欣哉/松本 有史	松本 有史	久永 欣哉	金子 仁彦	金子 仁彦
	再来		久永 欣哉	久永 欣哉	金子 仁彦	久永 欣哉	久永 欣哉
			永野 功	伊藤 博明	松本 有史	伊藤 博明	
内科			清野 仁	清野 仁	伊藤 博明	清野 仁	清野 仁
			志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
				齊藤 秀行	齊藤 秀行		東北大学病院から
循環器科	午前		東北大学病院から				東北大学病院から
	午後		東北大学病院から (検査日)				
呼吸器科					平野 泰三		
消化器科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (検査日) 第2・4週(木を基準)		
アレルギー科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
			東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後		県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週				県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科	午後		齋藤 八十				澤村 武 福士 彩記子 (隔週交替 13:30~15:30)
皮膚科						東北大学病院から	
脳神経外科			永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			(仁村 太郎)				永松 謙一
歯科			中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来		神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来		神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来		神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来		神経内科外来にて随時受け付け				
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来		志澤 聡一郎				志澤 聡一郎
	入れ歯外来					伊藤 秀美	伊藤 秀美

受診される方へ ----- 交通のご案内 -----

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、急患の方は随時受付いたします。
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,700円を負担していただくことになりますので予めご了承願います。

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。
高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線互理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

